

第9回 西日本インカレ（合同研究会）専用企画シート

必ず「企画シート作成上の注意」をご確認いただき、ご記入をお願いいたします。

大学名（フリガナ）	学部名（フリガナ）	所属ゼミナール名（フリガナ）
フリガナ) 関西	フリガナ) ケイザイ	フリガナ) ニシムラ
関西大学	経済学部	西村ゼミ

チーム名（フリガナ）	代表者名（フリガナ）	チーム人数（代表者含む）
フリガナ) パイナップルマンゴー	フリガナ) タカノ モナコ	4
パイナップルマンゴー	高野 最子	

研究テーマ（発表タイトル）

生きた外国語学習機会を！

1. 研究概要（目的・狙いなど）

私達は普段の学生生活の中で私達自身が実際に感じている、不満や疑問とは何かという点に着目しました。様々なテーマがある中で、外国語学習というテーマを取り上げます。

義務教育のカリキュラムの中で日本のほとんどの学生が約3年間、高校に進学している学生は約6年間、人によってはそれ以上の期間を使って英語の学習を続けています。しかし、それらの学習期間を経て本当に使える英語を身につけることが出来ている学生は、それ程多くは見受けられません。実際に私達も、これまで数年間という時間をかけて外国語を学んできたのにも関わらず、しっかり身につけることが出来ていない者の一部です。決して、私達に語学を「身につけたい」という気持ちがないわけではありませ

ん。これらの事実から、「もっと実用的な、身につく外国語学習機会」に加えて、金銭的に何かと経済的に厳しい私達大学生だからこそ、ボランティアなどの無償活動ではなく、学びながらお小遣いを稼げる機会を作ることが私達の目的です。

2. 研究テーマの現状分析（歴史的背景、マーケット環境など）

語学の練習や文化交流を目的とするボランティア団体は多く存在しています。その他にも、外国語を必要とする様々なアルバイトの募集情報が掲載されている上に、私達が考案しようとしている内容と似たようなサービスを提供しているウェブサイトなどは探せば、探すほど、多く存在していることが分かりました。

3. 研究テーマの課題

当初私達が考案しようとしていたサービスと似たものが、既に世の中に存在してしまっているということが分かりましたが、同時にどのサイトのサービスも普及率や認知度が低いということも確認することができました。そこで、それらの事実を有効活用し方向性を変えることで、実現の可能性があると考えました。

4. 課題解決策（新たなビジネスモデル・理論など）

既存のサービスとの差別化を図ることで、独自性を出します。具体的には、「大学生のための生きた外国語学

習機会」という言葉の「大学生のため」というキーワードを軸としたサービスを考え出すことです。

5. 研究・活動内容（アンケート調査、商品開発など）

・関西大学生を対象に、外国語についてのアンケートを実施しました。

6. 結果や今後の取り組み

実現させるためには、様々な課題があり、内容としてはまだまだ未熟ですが可能な限り研究を進めていきます。

7. 参考文献

- ・ 澤村明、田中敬文、黒田かをり、西出優子（2017年4月20日）『はじめての NPO 論』(最終閲覧：2018/11/8)
- ・ 廣瀬隆行（2018年4月2日）『企業人・大学人のための 知的財産権入門（第3版）』(最終閲覧：2018/11/8)
- ・ 堀田力、名越修一（2012年12月10日）『新版 自分たちで作ろう NPO 法人！』(最終閲覧：2018/11/8)
- ・ 日本政府観光局 訪日外国人旅行者数の推移（最終閲覧：2018/11/11）
http://www.mlit.go.jp/kankocho/siryou/toukei/in_out.html
- ・ 国土交通省 観光庁 訪日外国人旅行消費額と訪日外国人旅行者数の推移（最終閲覧：2018/11/11）
<http://www.mlit.go.jp/common/001217542.pdf>
- ・ 国土交通省 観光庁 外国人旅行者に対するアンケート調査結果（最終閲覧：2018/11/11）
<http://www.mlit.go.jp/common/000190659.pdf>
- ・ 通訳案内士（最終閲覧：2018/11/11）
<https://www.japanese-guideinterpreter.jp/>
- ・ 国土交通省 観光庁 旅行業法について（最終閲覧：2018/11/11）
<http://www.mlit.go.jp/kankocho/shisaku/sangyou/ryokogyoho.html>
- ・ 旅行業法について(最終閲覧：2018/11/11)
<http://www.shigatabi-club.com/blog/2017/08/post-155.html>
- ・ Travee <http://travee.co/>(最終閲覧：2018/11/11)
- ・ Huber <https://huber.co.jp/>（最終閲覧：2018/11/11）
 - ・挿入画 girlschannel.net(最終閲覧：2018/11/11)

●パワーポイント内に動画を使用されている場合、動画を使用しているスライドのページをご記入ください。

使用しません

●発表時に使用する成果物（例. 商品化した●●、店舗で配布したパンフレット、調査に使用したアンケート）

使用しません

【企画シート作成上の注意】※「第9回 西日本インカレ（合同研究会）大会参加要項」も合わせてご確認のうえ、企画シートの作成を行ってください。

- ・本企画シートは審査の対象となり、予選会・本選の前に、審査を行っていただく大学教員・企業の方々に事前にお渡しいたします。
- ・本企画シートは、「日本語」で書かれたものとし、1チーム・1点提出してください。また、翌年3月に公開予定の「大会結果 Web ページ」に掲載されます。
- ・本企画シートの項目に沿って、ご記入をお願いいたします。各項目に文字数制限はありませんが、1～7以外の項目を追加することは「不可」とさせていただきます。
- ・本企画シートは、作成上の注意を含め、4ページ以内に収めてください。事務局から審査員に渡す際は、A4サイズでプリントし、4ページ目までをお渡しします。
- ・大会参加申込み時点から、チーム編成の変更（チームの人数・交代など）は、「不可」とさせていただきます。ただし、チームメンバーの留学等やむを得ない事情でチーム編成に変更が生じる場合は、西日本インカレ事務局にご連絡ください。事務局より手続きについてご連絡をさせていただきます。なお、参加申込書提出時からのチーム名変更は「不可」とさせ

ていただきます。

- ・企画内容は、未発表の（過去に他誌・HPなどに発表されていない）ものに限りませす。ただし、学校内での発表作品は未発表扱いとなります。
- ・商品写真、人物写真、音楽などを掲載・利用する場合、必ず著作権、版権の使用許諾を得てください。日経 BP 社・日経 BP マーケティング社は一切の責任を負いません。
- ・書籍や新聞等の文献から引用した場合は、出典先（使用した文献のタイトル・著者名・発行所名・発行年月など）を明記してください。統計・図表・文書等を引用した場合も同様に明記してください。また、Web サイト上の資料を利用した場合は、URL とアクセスした日付を明記してください。
- ・発表時に使用する成果物がありましたらご記入ください。記入がない成果物は大会当日使用することができません。また記入いただいた内容について、事務局から代表者の方に確認をさせていただく場合がございます。
- ・電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。